

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成28年5月】

■調査概要（データ対象期間：平成28年5月1日～5月31日）

- 調査期間：平成28年6月7日～6月24日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業25企業、製造業21企業、卸売業12企業、小売業35企業
飲食業15企業、サービス43企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計151企業>
- 調査項目：5月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

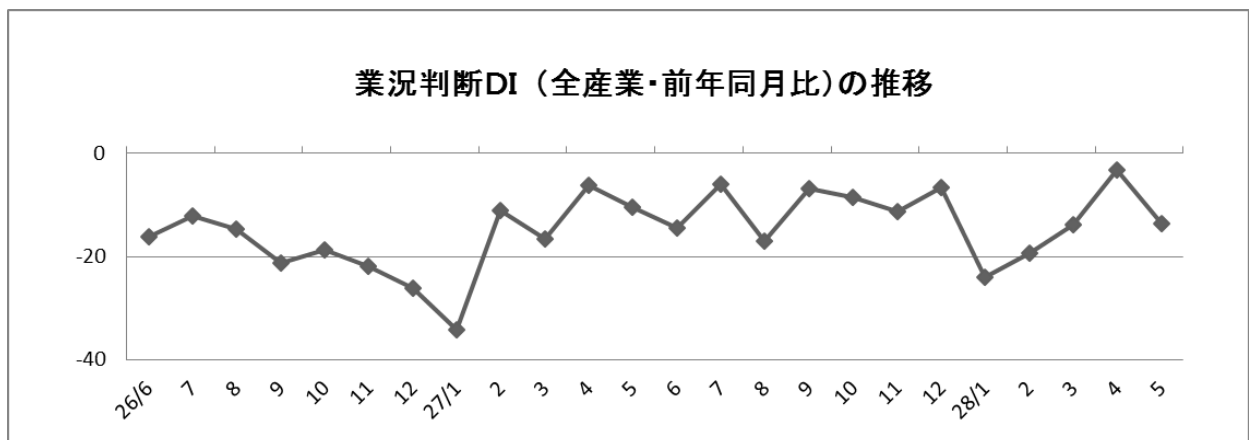
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲3.3）よりマイナス幅が10.6ポイント拡大し、▲13.9となった。業種別では、卸売業、製造業、サービス業、建設業、飲食業、小売業のすべての業種でマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲10.3）よりマイナス幅が8.3ポイント拡大し、▲18.6となった。業種別では、サービス業はマイナス幅が縮小した。飲食業は横ばいとなった。建設業、卸売業、小売業、製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	12.6 (16.1)	60.9 (64.5)	26.5 (19.4)	↓ ▲13.9 (▲3.3)	9.9 (15.5)	61.6 (58.7)	28.5 (25.8)	↓ ▲18.6 (▲10.3)
建設業	8.0 (12.0)	64.0 (68.0)	28.0 (20.0)	↓ ▲20.0 (▲8.0)	8.0 (8.0)	72.0 (76.0)	20.0 (16.0)	↓ ▲12.0 (▲8.0)
製造業	23.8 (17.4)	42.9 (56.5)	33.3 (26.1)	↓ ▲9.5 (▲8.7)	14.3 (26.1)	42.8 (43.5)	42.9 (30.4)	↓ ▲28.6 (▲4.3)
卸売業	16.7 (15.4)	58.3 (61.5)	25.0 (23.1)	↓ ▲8.3 (▲7.7)	16.7 (15.4)	50.0 (61.5)	33.3 (23.1)	↓ ▲16.6 (▲7.7)
小売業	14.3 (26.5)	57.1 (55.9)	28.6 (17.6)	↓ ▲14.3 (8.9)	8.6 (20.6)	54.3 (50.0)	37.1 (29.4)	↓ ▲28.5 (▲8.8)
飲食業	0.0 (20.0)	66.7 (46.7)	33.3 (33.3)	↓ ▲33.3 (▲13.3)	13.3 (20.0)	53.4 (40.0)	33.3 (40.0)	→ ▲20.0 (▲20.0)
サービス業	11.6 (8.9)	69.8 (80.0)	18.6 (11.1)	↓ ▲7.0 (▲2.2)	7.0 (8.9)	76.7 (68.9)	16.3 (22.2)	↗ ▲9.3 (▲13.3)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

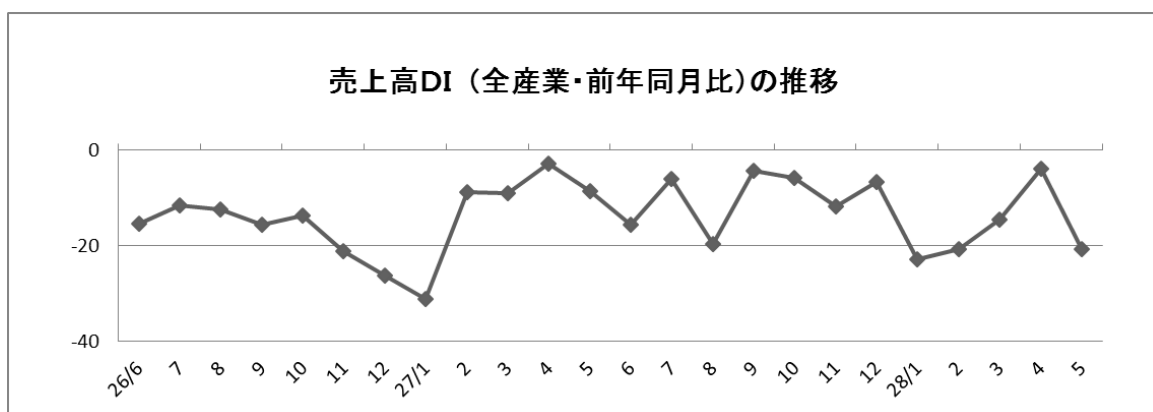


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲3.9）よりマイナス幅が16.7ポイント拡大し、▲20.6となった。業種別に見ると、小売業、製造業はプラスからマイナスに転じた。サービス業は0からマイナスになり、卸売業、建設業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

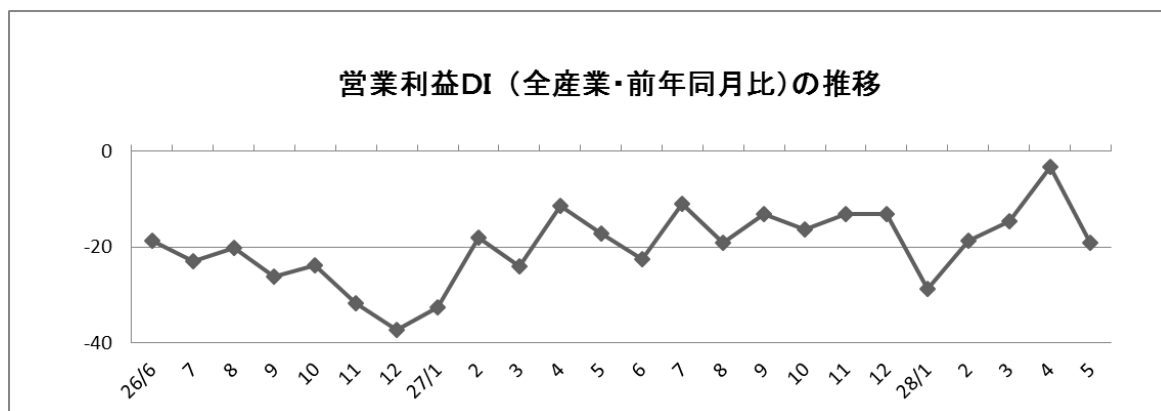
【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 8.6	▲ 15.6	▲ 6.0	▲ 19.7	▲ 4.4	▲ 5.8	▲ 11.8	▲ 6.6	▲ 22.7	▲ 20.7	▲ 14.5	▲ 3.9	▲ 20.6
建 設 業	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0
製 造 業	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6
卸 売 業	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0
小 売 業	▲ 20.0	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7	▲ 34.3	▲ 18.1	2.9	▲ 17.1
飲 食 業	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0
サービス業	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0



3. 営業利益DI（前年同月比）

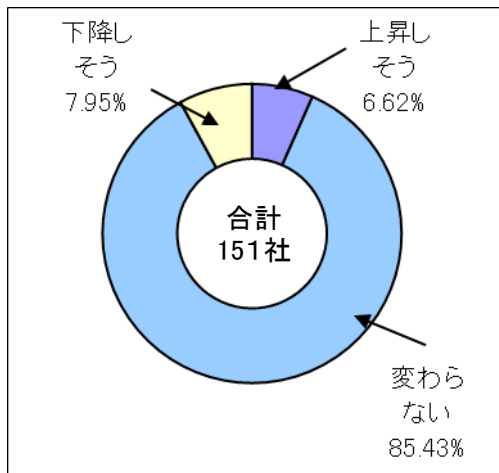
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲3.2）よりマイナス幅が16.0ポイント拡大し、▲19.2となった。業種別に見ると、小売業、卸売業はプラスからマイナスに転じた。サービス業、製造業、飲食業、建設業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

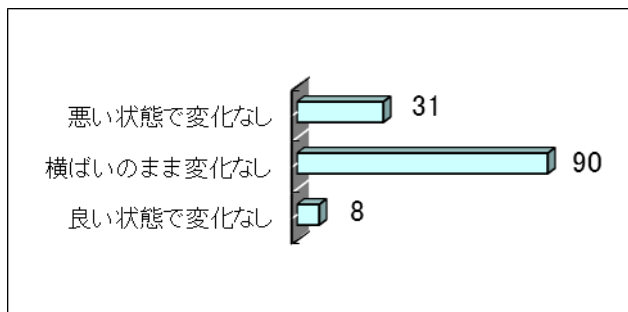
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 17.1	▲ 22.5	▲ 10.9	▲ 19.1	▲ 13.2	▲ 16.3	▲ 13.1	▲ 13.2	▲ 28.7	▲ 18.7	▲ 14.5	▲ 3.2	▲ 19.2
建 設 業	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0
製 造 業	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3
卸 売 業	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6
小 売 業	▲ 17.1	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3	▲ 34.4	▲ 18.1	5.9	▲ 22.8
飲 食 業	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7
サービス業	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成28年6月～平成28年8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ2.41ポイント減少し6.62%、「下降しそう」が2.14ポイント増加し7.95%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲4.0)、製造業(4.7)、卸売業(8.3)、小売業(▲2.8)、飲食業(▲20.0)、サービス業(2.3)であった。

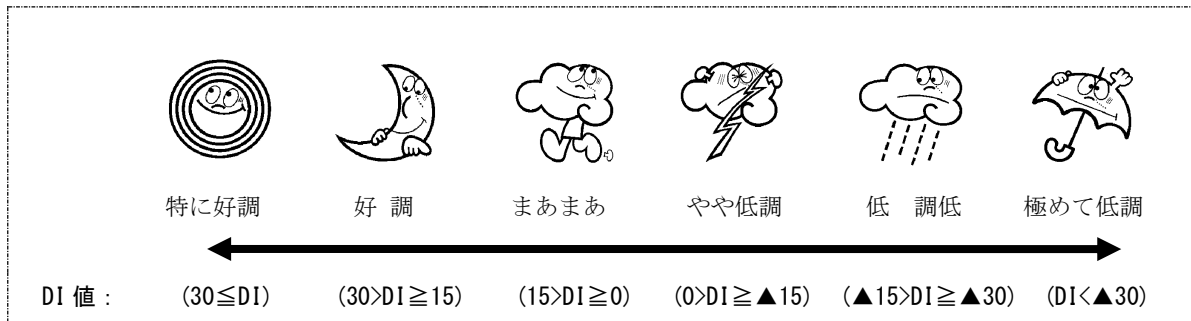
➡「上昇しそう」では、「公共工事の発注増加が予想されるため」「防犯灯LED化について市の補助金がでるので、関心が高いため」(建設業)、「新規受注があるため」(製造業)、「6月からの案件で悪い状況から脱却できるため」(卸売業)、「店内を改装するため」(小売業)、「夏が近づくと頃から忙しくなるため」「例年夏頃は来客数が増加するため」(飲食業)、「夏のシーズン予約が好調のため」「夏の観光シーズンが始まるため」「繁忙期になるため」「毎年気温の上昇とともに活気付くため」(サービス業)といった声が寄せられた。



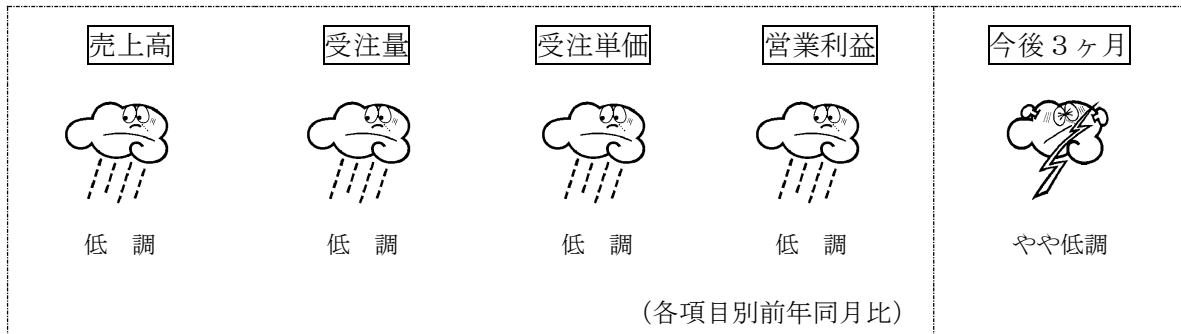
➡「下降しそう」では、「今までが好調だったので、これ以上の改善は難しいと思われるため」「公共事業発注量がかなり少ないため」(建設業)、「景気不透明なため」(小売業)、「仕掛中の案件がないため」「先月が良かったので反動が予想されるため」「物件が一段落したため」「平成28年度求職者支援訓練応募者減少のため」(サービス業)、といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 32.0	▲ 16.7	▲ 12.0	▲ 28.0
受注量	▲ 12.0	▲ 20.8	▲ 34.8	▲ 36.0	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 16.7	▲ 16.0	▲ 28.0
受注単価	8.0	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 16.0	▲ 16.0
営業利益	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 4.0	▲ 24.0
見通し	4.0	▲ 8.3	8.7	0.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0	8.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0

<経営者の目・見方・e t c>

鉄工

- ・夏場過ぎから需要増加が見込まれるため忙しくなりそうである。
- ・地元の仕事が増えてきたように思われる。
- ・県内の建設業の状況は周りの経営者から聞く限り悪化しているようである。当社も逃れることは難しいため、今後一時期は悪化すると考えられる。

電気工事

- ・各業界の定期総会が終了したが特に状況に変化はない。

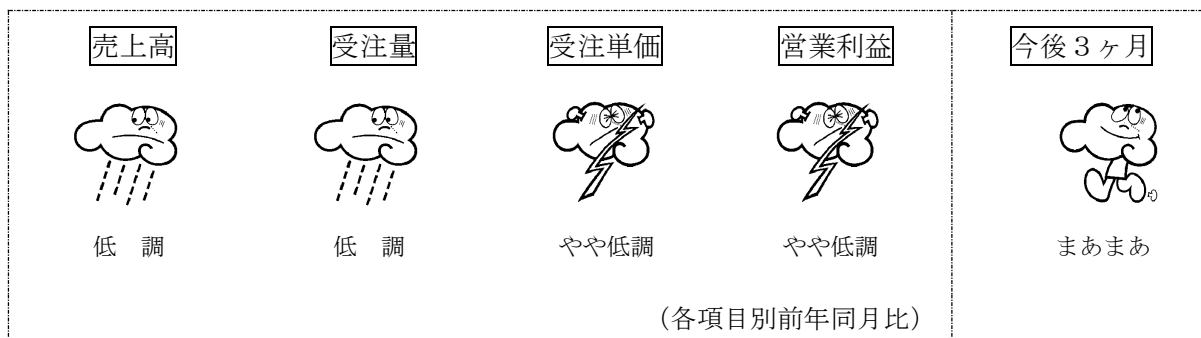
管工事

- ・受注量は前半並みであったが、営業利益が少なく、今後の見通しは悪そうである。

土木工事

- ・消費税は減税になると嬉しい。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8	▲ 19.1	▲ 9.5	4.4	▲ 28.6
受注量	▲ 4.4	▲ 27.3	▲ 5.0	▲ 17.4	4.2	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 12.5	▲ 19.1	▲ 4.8	▲ 4.4	▲ 28.6
受注単価	▲ 17.4	▲ 31.8	▲ 20.0	▲ 17.4	▲ 8.4	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 21.1	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 28.5	▲ 17.4	▲ 14.2
営業利益	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0	▲ 9.6	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 14.3
見通し	8.7	0.0	▲ 5.0	▲ 17.4	▲ 4.2	▲ 10.0	5.0	▲ 15.8	4.2	14.3	▲ 33.3	8.7	4.7

<経営者の目・見方・etc>

紙器

・思うように受注がない。

酒類

・松本地域全体の観光客は増えている様子で、相変わらずインバウンド外国人客が増加傾向にある。連休後は上高地などの観光地は静かで、今後の増加に期待したいが、客単価などの伸び悩みがある。日本酒需要は純米酒系統に人気が集まっており、近年の減少傾向がようやく底を打ったかのように見える。甘酒は健康飲料としてここ半年間で人気が急上昇中である。大手のナショナルブランドではなく、地元地域に根付いた商品を消費しようという傾向が、大変ありがたい動きとなっている。

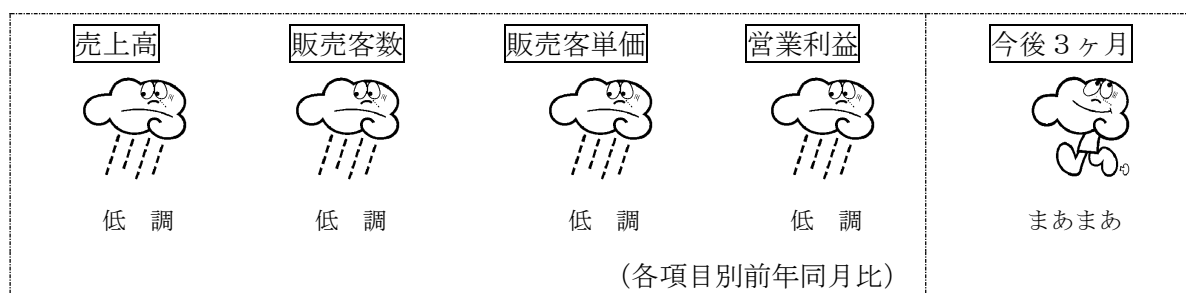
小型情報機器組立

・先の見直しが、わからない状況である。

金属塗装

・売上は減少したが、経費が低く済み利益がでた。但し、灯油、LPG の上昇、中国の景気減速が心配である。

3. 卸売業



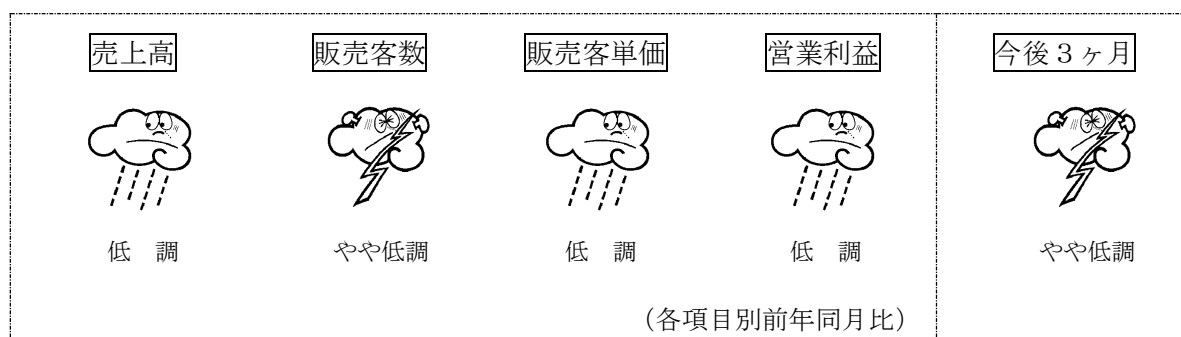
【項目別DIの推移】

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 25.0
販売客数	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 23.1	▲ 16.7
販売客単価	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 6.6	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 42.9	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7
営業利益	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	31.3	13.3	30.8	▲ 16.6
見通し	0.0	▲ 6.3	0.0	11.8	5.9	6.7	▲ 12.5	▲ 21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	8.3

<経営者の目・見方・e t c>

土産品	・ゴールデンウィークは好調に推移し、売上も予想以上であった。連休の日並びの影響もあると思われた。
青果	・ゴールデンウィーク中も昨年のように暑すぎず、大きな天候の乱れもなく順調な動きであった。青果物には九州で起きた地震による影響はあまり無かったが、各地で九州応援フェア等が組まれた。
機械工具	・スタートは好調であったが、思ったほど売上は伸びなかった。昨年同期比で見ると昨年より多少だが売上が上回った。良い状況が何ヶ月か続いて欲しい。
金属製品	・仕事が少ない状況に変化はない。動き出すのは首都圏を中心とした第三、第四半期からとなる見込みである。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

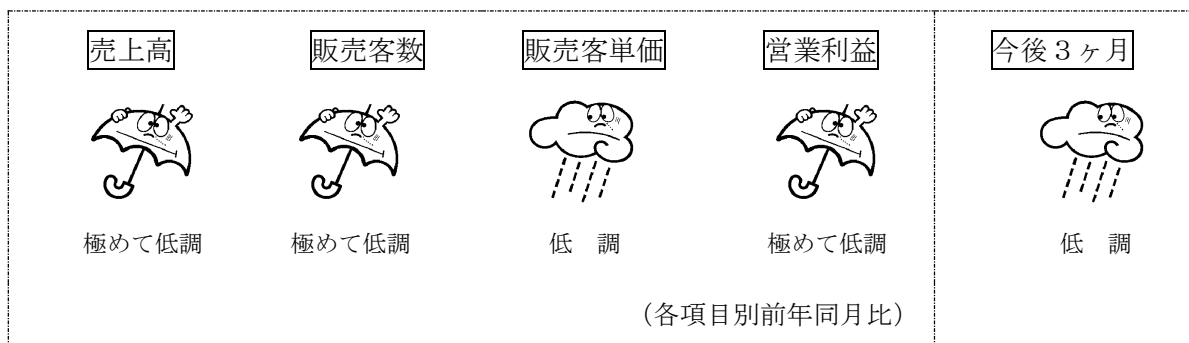
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲20.0	▲27.0	▲18.0	▲25.0	▲15.1	▲18.1	▲25.0	▲12.5	▲43.7	▲34.3	▲18.1	2.9	▲17.1
販売客数	▲5.7	▲24.3	▲10.3	▲30.6	▲27.2	▲18.2	▲11.2	▲9.4	▲43.7	▲37.5	▲24.2	▲3.0	▲11.4
販売客単価	▲2.9	▲16.2	▲12.8	▲22.2	▲12.1	▲27.2	▲22.2	▲15.7	▲15.7	▲37.5	▲9.1	0.0	▲22.8
営業利益	▲17.1	▲29.7	▲20.5	▲19.4	▲24.2	▲42.4	▲30.6	▲9.4	▲34.3	▲34.4	▲18.1	5.9	▲22.8
見通し	2.9	2.7	▲7.7	2.7	0.0	▲15.2	▲2.8	0.0	▲3.1	0.0	6.1	2.9	▲2.8

<経営者の目・見方・e t c>

菓子	・いつもとは違い連休の前半の売上は良かったが中旬からは良くなかった。消費税増税延期は良かったと思う。
パン	・ゴールデンウィークとクラフトフェアに上手く乗ることができ、全体の売上が少し増えた。危惧することは労働環境であり、早急に改善を図りたい。
書籍・木のおもちゃ	・ゴールデンウィークは少し賑わったが中旬から後半にかけて売上が伸び悩んだ。来店しても見るだけで帰る人が増えている現状である。
石油製品販売	・電力自由化に伴い、販売競争が起きている。県外の広域販売業者の動きが今後気になる。
印章	・外国の観光客を多く見かける月であった。しかし、財布の紐は相変わらず固く売上に繋がらない。 ・印鑑素材・ケース類等の値上がりが続いている。販売価格に転嫁したいが難しい。印鑑の自動販売機やシャチハタスタンプのセミセルフ機の登場により「ハンコ」という商品が多様化している。その中で、自店を利用して下さるお客様には求めている商品をキチンと見極めてもらうことが大切だと感じる。

陶磁器	・前年に比べ休日が一日少なかった上に連休の日並びも悪く、例年並みの人手であった。外国人観光客の来店は相変わらず多いが、既に定着した感もあり、実績としては前年比での「ボーナス」期は終わり、来日、来店が減れば減収減益に直結すると思われる。
味噌・漬物	・暖冬のため梅の花が早く咲き収穫量が少なかったため、原材料の価格が高い。
薬局	・天気も良く、まとめ買いキャンペーンも好評であったため良い月となった。
化粧品	・天候に恵まれたため工芸の五月への観光客、買い物客が増えたので、客数の増加、特に新しいお客様の増加は小売業にとっては有難いことである。
生鮮食品	・連休やお祭り、母の日と5月前半とても忙しかったが、後半は静かであった。またクラフトフェアには県外の方が来店して、毎年楽しみにしていると言われた。
観光物産	・5月の連休の途中で平日があったため前半は良かったが、後半は悪かった。天気予報が影響していたと考えられる。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

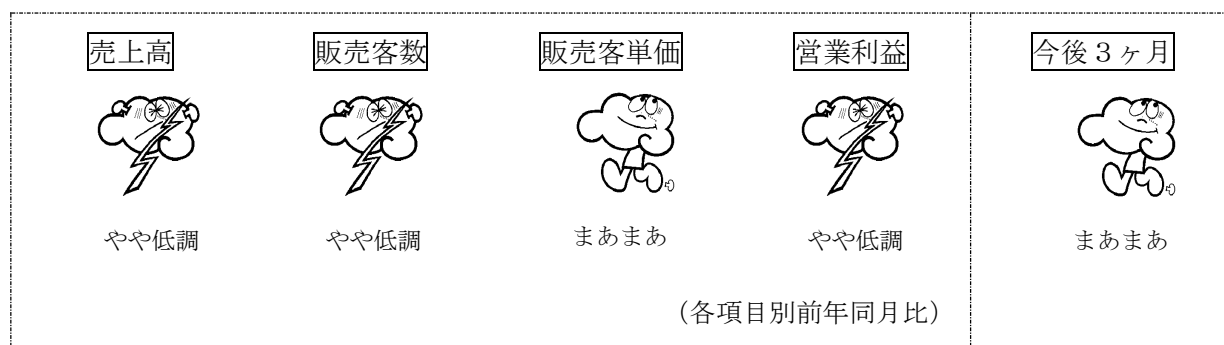
	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0
販売客数	6.7	▲ 7.1	▲ 6.2	0.0	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2	▲ 46.1	▲ 13.4	▲ 20.0	▲ 40.0
販売客単価	▲ 13.3	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 30.8	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.0
営業利益	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2	▲ 46.2	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 46.7
見通し	▲ 6.6	14.3	12.5	▲ 22.2	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2	15.4	▲ 6.6	0.0	▲ 20.0

<経営者の目・見方・etc>

創作料理	・いくつかのイベントが行われたが、相変わらず人の動きが悪い。イベントは単発ではなく続けていく方がより動きが出てきて良いと思う。
中華料理	・ゴールデンウィークの日にならなく、世間では10連休など大型連休となり城下町松本にも沢山のお客様が来られた。しかし、お城も二時間待ち、渋滞等で疲れた顔をしている観光客を見かけた。この事は至急改善すべき課題であると感じる。
郷土料理	・ゴールデンウィークは暦の並びで期間も長く盛況であったので、中旬から下旬にも期待したが来客数が思うように伸びなかった。
そば	・ゴールデンウィーク前半は良かったが、後半は賑わいが少なかった。

- レストラン
 - ・消費税引き上げが延期になりひと安心である。
- 料理
 - ・連休中は客足が落ち宴会は例年並みであったが、客単価が低く、これからも我慢の日が続くそうである。
- 寿司
 - ・ゴールデンウィーク、春祭り、母の日等非常に忙しい日がある半面、暇な日との差が大きい。忙しい時には人手が欲しいと思うが全体的にみると従業員を増やす訳にはいかない。クラフトフェアが年々盛況になり、大変な賑わいを見せているが、大変な交通渋滞と駐車違反で迷惑しているのも現実である。
 - ・今年のゴールデンウィークは昨年と比べ、間に平日を挟んだこともあり間延びした感じであったが、それ以降は例年並みの結果であった。今後はインバウンド客を含めた観光客の動きに注目したい。
 - ・前半は例年並みに良かった。後半は客足が鈍かった。引き続き悪い状況から脱却できそうにない。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	27年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3	▲ 4.7	▲ 11.4	0.0	▲ 7.0
販売客数	2.1	▲ 14.9	4.0	▲ 25.0	0.0	8.7	▲ 9.5	2.1	▲ 23.1	▲ 2.3	▲ 6.8	▲ 2.3	▲ 11.7
販売客単価	0.0	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 18.2	6.8	8.7	▲ 4.7	4.3	▲ 23.0	0.0	▲ 2.2	4.5	9.3
営業利益	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9	▲ 4.6	▲ 13.7	▲ 6.7	▲ 6.9
見通し	▲ 2.0	0.0	10.0	9.1	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6	0.0	▲ 2.3	6.7	2.3

<経営者の目・見方・etc>

- ソフトウェア
 - ・3月決算にともなう動きがひと段落し、悪い意味で落ち着いた状態である。都内からの発注案件について県内業者で取り合う事となった。今後いっそうのユーザ企業からの業務案件の変化にシステム環境を合わせていく必要があるが、そうした人材を確保することが難しい。
- 宿泊
 - ・ゴールデンウィークの天気の子測が悪かった。季節の動きが速く、花の時期がずれ込んだので、山へ行く方が減ったように感じた。
- ホテル
 - ・インバウンドについて、4月末の確認では催行予定だったが、5月に入り間際のキャンセルが複数発生した。
 - ・先月同様、宿泊はインバウンドが多く好調であったが宴会の回数、人数共に低調であった。

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客は松本の景観を求めていると感じる。今月は九州地方より登山者が多く来られた。 ・円安、株高が5ヶ月ほど続き、その後円高、株安が続いている状況である。日本にとっては円安、株高の方が合っている様に感じる。 ・記録的に雪が少なく、季節が早く過ぎた。新緑も花も時期が早くなり、来訪客も増えた。特に日帰りの台湾、中国の団体さんは、例年なら5月の前半で終わりだが、5月一杯まで、観光バスで訪れていた。
自動車備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より、全体的に仕事量と人の動きに活気がない様に思える。夏場に向けて少しでも活気が出てくることを願う。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事量は例年並みである。連休も休むことが出来た。仕事が途中で6月納品になるため売上は少ない。設備投資があり、仕事に繋がっている。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・初旬に連休があったが観光地の天候はまだ安定せず、輸送人員は前年より少なく、売上も前年に届かなかった。
マナー講師	<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修が一段落した。ブライダル関係の仕事が増えている。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・販売客単価が上がったことと、ホテル利用増加のため売上高が前年を上回った。
獣医	<ul style="list-style-type: none"> ・猫ブーム＝ネコノミクスなどと言われているが、かつてのバブル時期のペットブームとは様相が違っている。関連キーワードとしては「癒し、CMの猫、猫カフェ、飼いやすさ、猫の性格、猫グッズ、猫関連本や写真集、地域猫」などがあげられる。
美容	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨時期なのでストレートパーマや広がりを抑えるようなトリートメントを強化していきたい。
理容	<ul style="list-style-type: none"> ・連休もあり家計を圧迫しているのか、低迷していた。

